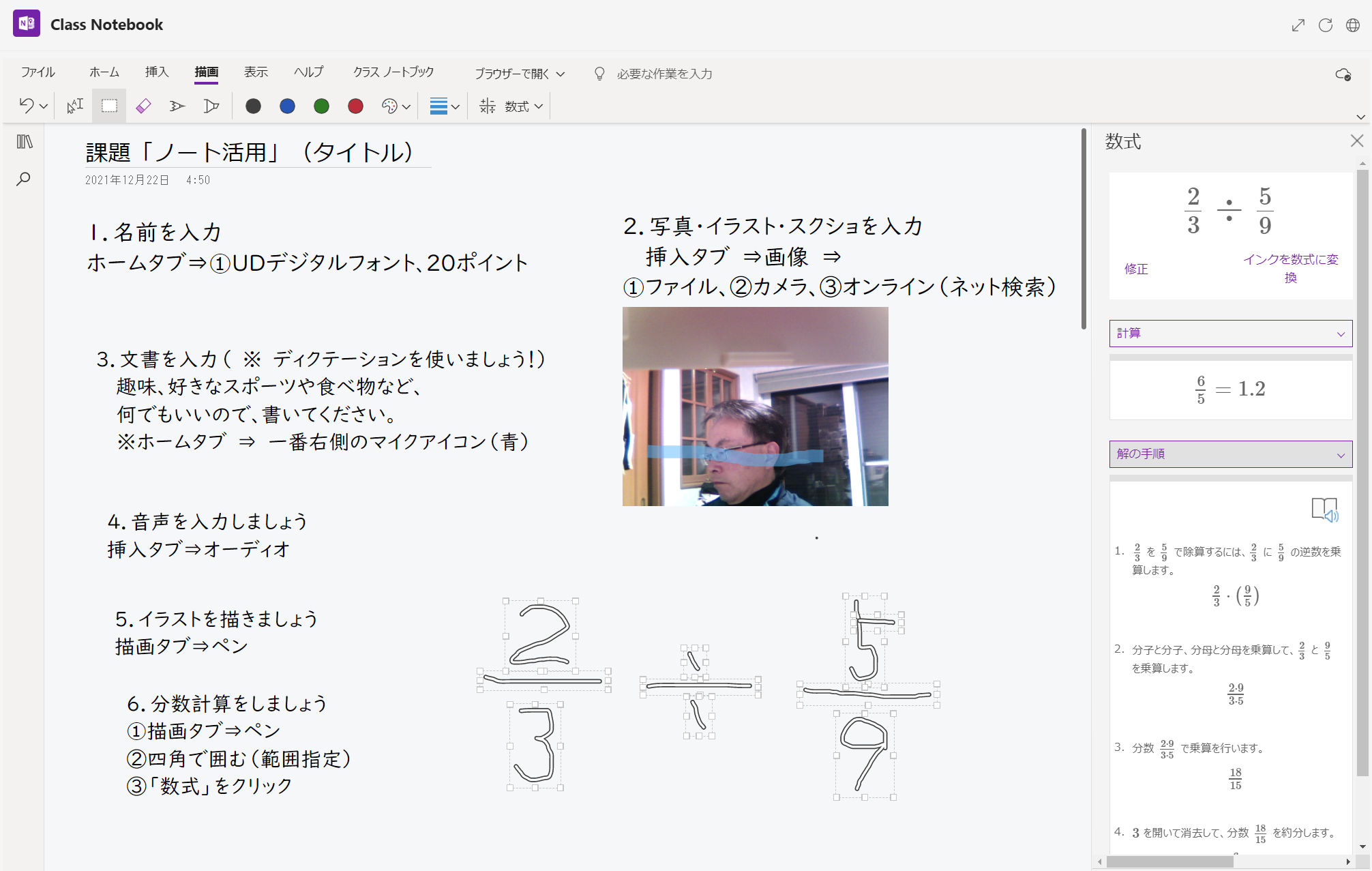
【Class　Noteｂｏｏｋ（OneNote）の使い方】

　Windowsパソコンに無料で入っています。スマホやタブレット（iOSやアンドロイド）でも使える便利な無料アプリです。紙面上でクリックした場所に、どこでも描けます。消す時は、上部バーを指定し、Delete（デリート：消去）キーで、一括削除。

例【児童のClass　Noteｂｏｏｋ課題例】　　（文字．絵．写真．音声．手書き．分数計算など）



タブ（メニュー）切換え

主な機能

（１）キーボード（テキスト）入力、手書き文字、イラスト、写真、音声、動画など　を記録することができる。

　　　　UD（ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ）フォントを使いましょう。位置は自由に変えられます。一括消去はバーの部分をDELキーで。

（２）写真やイラスト入力：挿入タブ⇒画像⇒➀ファイル、②カメラ、③オンライン（ネット検索）

（３）音声（日本語・外国語）で、データ入力　：　ホームタブ⇒ディクテーション（書き取り）

（４）パソコンで音読（声をだして読む）　⇒表示タブ⇒　イマーシブ　リーダー

　　発達障害（文字認識）への配慮　→　文字拡大と音読機能　　　※イマーシブ（没入感）

（５）イラスト（お絵描き）もできます。ペンと色を選択。

※描画機能を使用した後は、カーソルを入力に直すことを忘れずに！！

（ペンモードのままだと、お絵描きを続けてしまう）

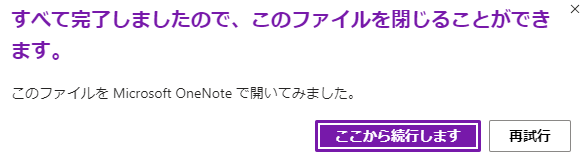
【発展機能の活用】　　⇒　「デスクトップアプリで開く」（Windows１０のOneNote）次頁

（１）計算　⇒　計算式を手描き入力→投げ縄で式を囲み、「解」と「解の手順」を表示　→　読み上げも可

（２）英会話　⇒　日本語でテキスト入力（音声や手書き入力可）　→　翻訳　→　読み上げ（ｲﾏｰｼﾌﾞﾘｰﾀﾞｰ）

【発展機能の活用】　　⇒　「デスクトップアプリで開く」

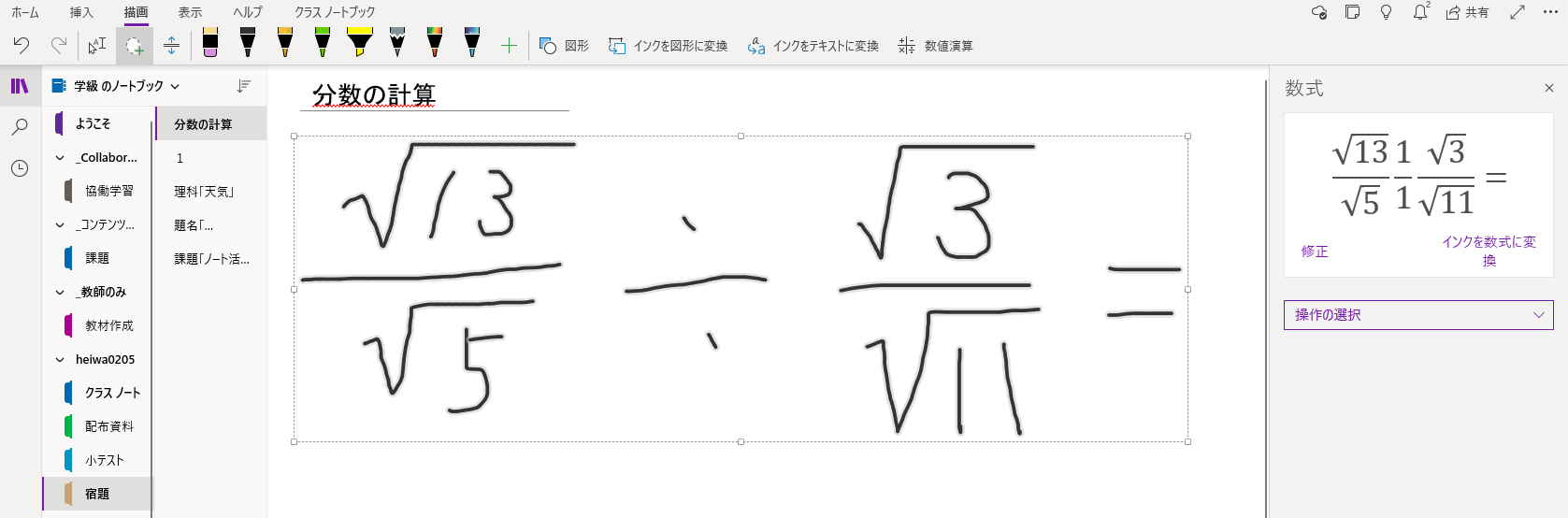
Windows１０のOneNote　のすべての機能を使用すると、➀算数や数学の計算問題や図形を描く、②英語のスピーチを考える時に、有効活用できます。「ブラウザーで開く▽」タブで、「デスクトップアプリで開く」をクリックし、Windows１０のOneNote　に切り替えて編集すると、同時にTeamsのClassNotebookにも反映されます。

（左図のメッセージがでますが、「ここから続行します」で良い）

１．OneNoteの描画機能を使う

（１）．算数や数学の計算問題

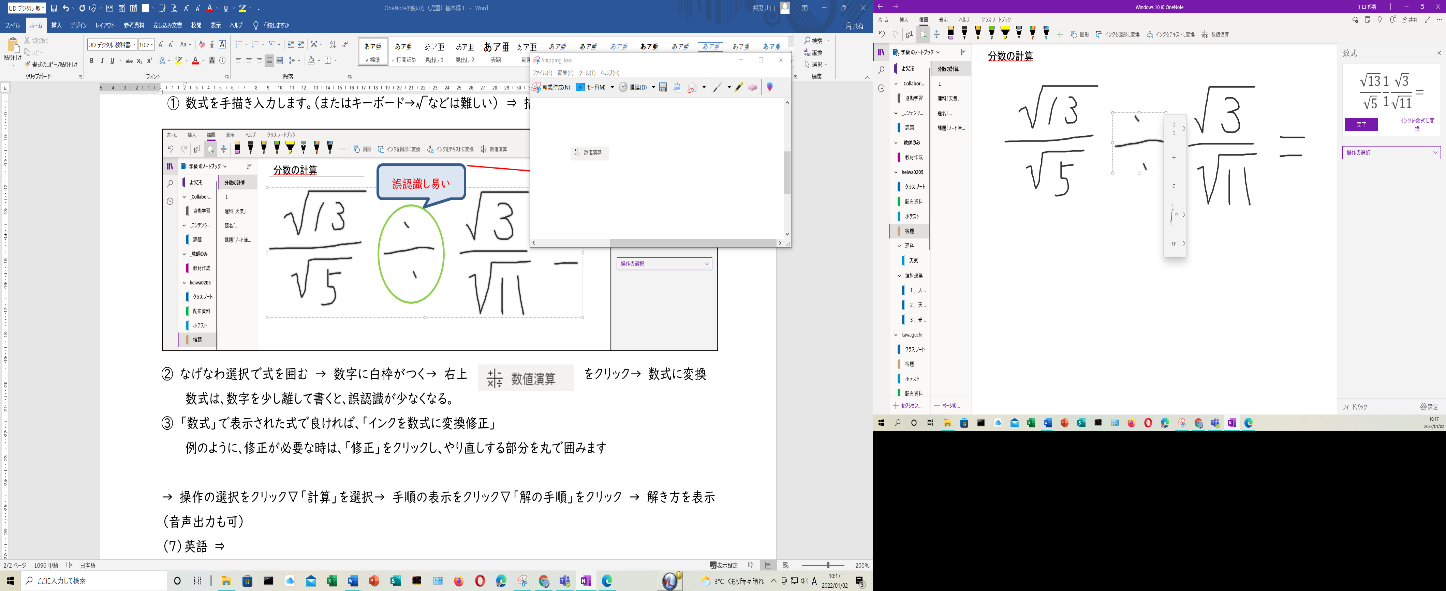
　➀　数式を手描き入力します。（またはキーボード→√などは難しい）　⇒　描画タブ→ペンをクリック



誤認識し易い

②　なげなわ選択で式を囲む　→　数字に白枠がつく→　右上をクリック→　数式に変換

　　　　数式は、数字を少し離して書くと、誤認識が少なくなる。

③　右枠「数式」で表示された式が正しければ、「インクを数式に変換修正」

例のように、修正が必要な時は、「修正」をクリックし、やり直しする部分

を丸で囲みます。すると、候補が現れるので正しい式に修正します。

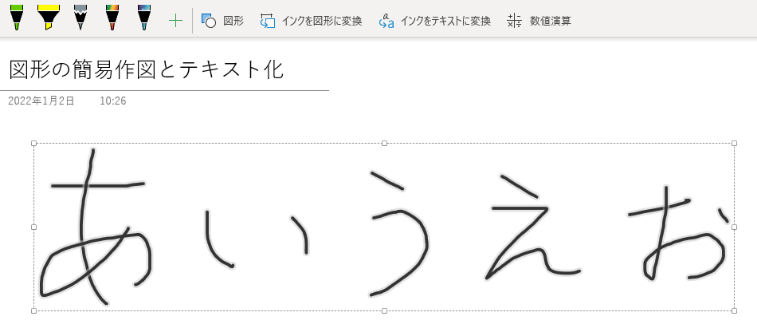
最後に「完了」をクリックします。

④　「操作の選択」をクリックし、「計算」を選択します。正解が表示され、

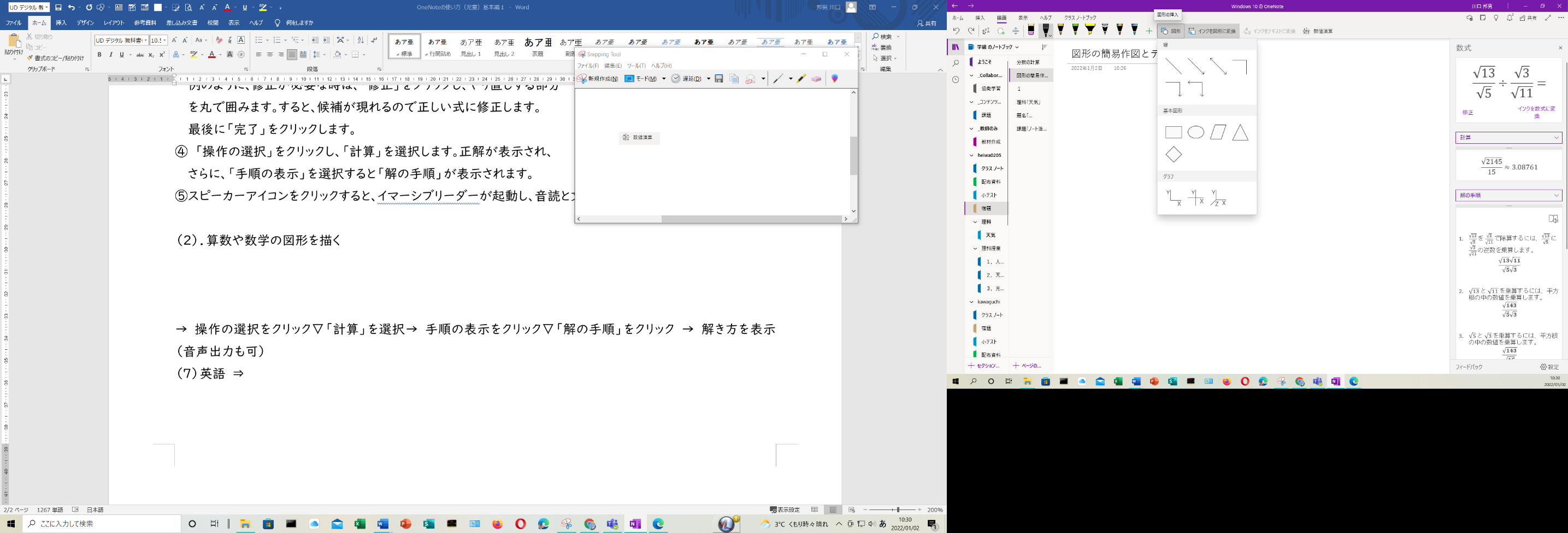
さらに、「手順の表示」を選択すると「解の手順」が表示されます。

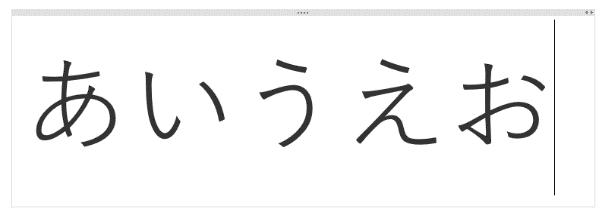
⑤スピーカーアイコンをクリックすると、イマーシブリーダーが起動し、音読と文字拡大が表示されます。

（２）．算数や数学の簡易図形を描く方法　　　　　　　（３）手書き文字をテキスト化する。「インクをテキストに変換」

　➀　「図形」を挿入　かまたは、

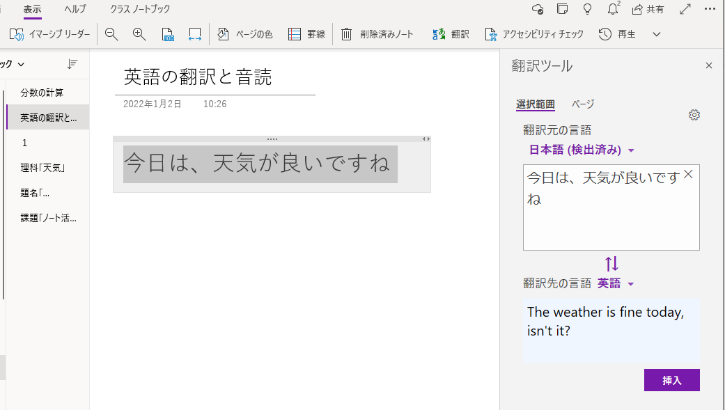
「インクを図形にする」の２通りがある。

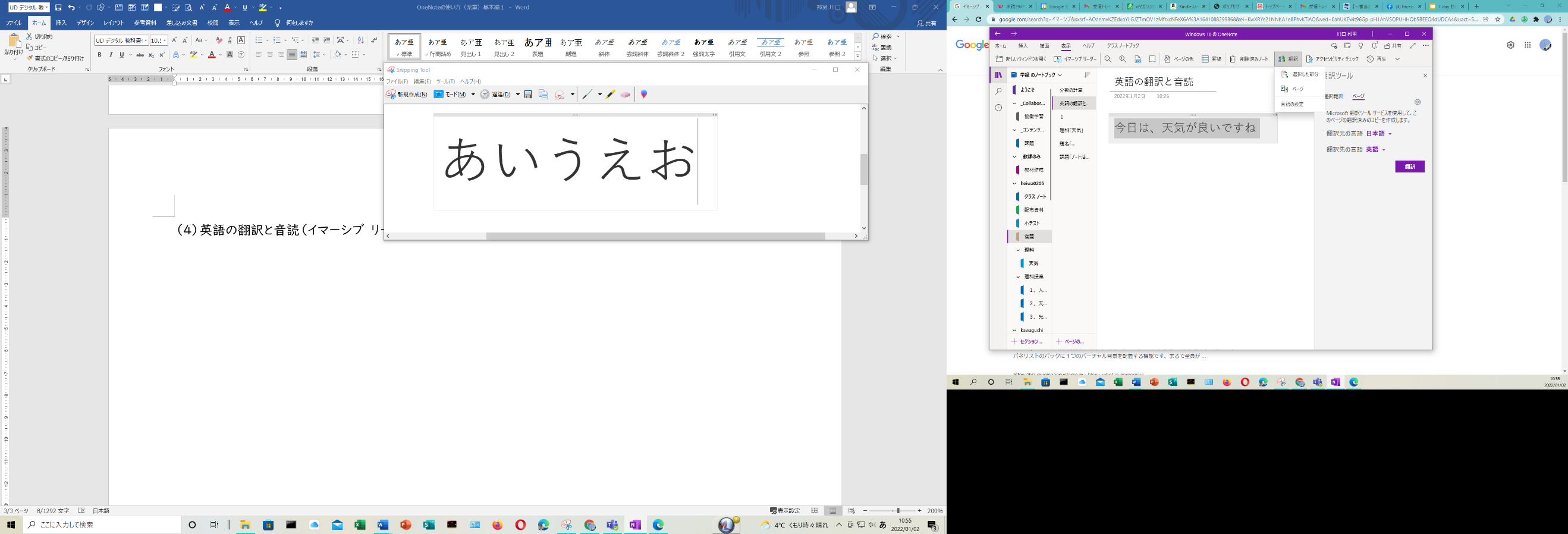




（４）英語の翻訳と音読（イマーシブ　リーダー）

　➀翻訳したい文を入力⇒表示タブ→「翻訳」をクリック→　「挿入」をクリック



②翻訳ツール下段に関連する言葉が表示される

③　「イマーシブ　リーダー」　で、英語での発音を聴くことができる。